

平成29年司法試験 合格体験記

平成28年度修了（既修コース）岡田 湧介

1 自己紹介

12期既修の岡田湧介と申します。平成29年に岡山大学法務研究科を修了し、幸いにして1回目の受験で司法試験に合格することができました。

2 合格体験記

まず、受験勉強においては、自分の弱点をいかに少なくしていくか、という点が大切だと思います。私は、基本書を読んだり問題演習をしたりする際には、自分に何が足りていないのかをしっかりと把握した上で行うように心がけていました。弱点は自分では気づきにくいものなので、先生や先輩方に答案添削をお願いして、客観的にも自分を分析するようにしていました。

次に、具体的な勉強方法としては、同じ問題集を短い期間で何回も繰り返し解くようにしていました。人間の記憶は覚えた時から徐々に薄れていくものなので、何度も繰り返し解くことにより知識の定着化を図りました。また、司法試験は科目が多い上に出题範囲が広いので、科目ごとの全体像を掴むことが大事であると考え、速いペースで解くようにしていました。

受験勉強の過程で、時にはやる気が出ないこともあると思います。私は何度もありました。つらい時こそ踏ん張って勉強をするべきだと考える人もいますし、やる気が出ないときは休んで、メリハリをつけて勉強をするべきだと考える人もいると思います。いずれにしろ、法科大学院入学から司法試験まで長期間勉強を継続しなければならないので、自分にあった勉強スタイルを確立することが大切です。

3 最後に

司法試験合格に向けて丁寧に指導してくださった先生方、学習環境を整備してくださった職員の方々に心より御礼申し上げます。皆様への感謝の気持ちを忘れずに、これからは法曹として社会に貢献できるよう、さらに精進していきたいと思います。